

12月
定例会

いたやなぎ 町議会だより

第4号

2015年2月13日発行
青森県板柳町議会



3人が一般質問 P2
視察・研修レポート P6
おらほの議員(議会選出委員) P8

表紙:りんご剪定会

町民の声を町政に

第12回定例会一般質問

第12回板柳町議会定例会が、12月4日から12日までの日程で開催され、10日に行われた「一般質問」に、3名の議員が登壇しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。



長内良蔵

板柳町長選挙

問

館岡町長は、平成11年4月の町長選挙で、豊かで活力あるまちづくりを目標とするため、5つの決意をうたつて初当選された。米とリンゴを中心とした農業を基盤とする板柳町の町長として就任以来、ふるさとセンターをはじめとする町活性化事業や全国でも大変珍しい条例「りんごまるかじり条例」の制定、町中心街にある廃壇の水環境を整備して「アップルモール」を完成させ更には町の宝である子供たちの安心・安全のために板柳中学校、小阿弥小学校の体育館耐震化に対しては、即断で建て直した。一方、行財政改革の推進や第5次となる板柳町長期振興計画の策定など、「日本一のりんごの里づくり」を目標に粉骨砕身、各分野にわ

たり、色々な事業を展開され、町政をけん引されてこられた。特に、ふるさとセンターの活動や農業生産者、そのほかの関係団体が団結して行ってきたことが、りんごの里というイメージづくりによって、板柳町の全国的な知名度も高まってきていると思う。来年4月の町長選挙を控え、現在、館岡町政は4期目最終盤を迎えているが、5期目に向かつて万全の体制で臨んでほしいと思っ

答

（館岡町長）4期16年にわたり、板柳町議会議員の皆様、板柳町民の皆様のご支援、ご協力を得ながら、りんごの里にふさわしい風格と個性のある「日本一のりんごの里づくり」をめざして町政の推進に努力してきた。これまで進めてきた、町づくりを検証し、町が抱える課題、将来の方向性など熟慮しながら、私の後援会をはじめ、支援者の皆様と相談し、しかるべき時期に進退を明らかにしたい。

再チャレンジを！

問

以前、私の一般質問の答弁で町長は「日本一のりんごの里づくり」の達成度は、まだ道半ばであると言われた。このことから責任感の強い館岡町長には、達成に近づくためにも再度町長選にチャレンジして、今後も町のかじ取り役をつとめてほしい。

答

（館岡町長）これまで公務に専念してきて、次期町長選については、本当のところまだほとんど考えていなかった。これから私の後援会をはじめ、支援者の皆様と相談し、しかるべき時期にきちつと進退を明らかにしたいので、この場では、はっきりできない。



三戸玲子

板柳町の出生率

問

新聞紙上に、人口統計上の指標で、一人の女性が一生に産む子供の平均数を示す青森県内市町村の合計特殊出生率が掲載されていた。板柳町はワースト1位で、女性が出産しなくなった現実を私は大変危惧しているが、町長はどのように考えているのか。

答

（館岡町長）低い要因は、子供を産み育てる世代の人口減少、婚姻、出産などにおける非婚化、晩婚化の進行、結婚や出産に対する意識の変化、子供を安心して産み育てるための経済、雇用、教育などの様々な社会的要因の不安などがあると考えている。

保健師の人数

問

出生率向上のためには、町の保健師の仕事の役割が重要であると思う。そこで町の保健師の人数が気になるが、近隣の自治体と比較してどうなのか。もし、少ない場合は今後増員を考えてほしい。

答

（館岡町長）町の保健師は、正

職員5名、総合検診や保健指導などに対応するパート、臨時職員1名である。近隣自治体の保健師1人当たりの人口割合は、1164人から2140人で、当町は2953人である。保健師の人数は近隣自治体と比較して若干少ないように感じるので、今後ふやす方向で検討したい。

認定こども園

問

国の子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から本格的に施行されるため、今定例会に条例案が提出されている。その中に認定こども園制度があるが、どのように保育所が変わるのか。他自治体の中には、この新制度に合わせ既に動きが見られるところもあるが板柳町は今後どのように取り組む予定か。

答

（館岡町長）この新制度の認定こども園は、教育、保育を一体的に行い、幼稚園と保育所の機能をあわせ持ち、保護者の就労状況などによらず柔軟に子供を受け入れられる施設となる。今年の1月に保護者を対象にアンケート調

査を実施した。この調査結果をもとに平成27年3月までに板柳町子ども子育て支援事業計画を策定し、計画的に総合的な支援を推進する予定である。

子供たちを育てる町支援の充実を！

問 保育料の無料化や学校給食の無料化など町で支援できることをもっと充実できないか。

答 (館岡町長) 財源の確保が可能になれば全て無料にした気持ちはある。今後も子供を産み育てる環境づくりに精一杯努力して行かなければならないと考えている。

問 土曜授業で各小学校、中学校の先生方はがんばっておられる。現場の先生方のほかに退職された教職員の方々などの応援も活用されてはどうか。

土曜授業

問 青森県内に先駆けで実施した土曜授業は実施から8ヶ月経過したが、私の目には子供たちが楽しそうに通学しているように写っている。現場の先生方の様子や対外的なことでは支障があるのかどうか。

答 (中谷教育長) 11月下旬に保護者

を対象に7つの質問項目を設けたアンケート調査を実施した。小学校では保護者の70%、中学校では保護者の62%が肯定的な受け止めをしていただいたと判断している。この背景には、各学校の教職員の方々の多大な協力あつてのことと感謝している。なお、出勤した教職員の方々は夏休み、冬休みに振替休日に対応している。

地域住民の教育力の活用を！

問 土曜授業で各小学校、中学校の先生方はがんばっておられる。現場の先生方のほかに退職された教職員の方々などの応援も活用されてはどうか。

答 (中谷教育長) 土曜授業にかかわらず今までも教育活動の中に学校が必要と思われる地域文化の伝承、あるいは米づくりやりんごづくりなど地域住民の教育力を取り入れてきた。今後も教育委員会として、学校からの要望を受けて、なお一層調整してまとめて行くつもりである。

防災の広域連携等



問 気象庁が全国にある活火山のうち、47の常時観測火山を発表したが、その中に岩木山も含まれていた。青森県の岩木山火山ハザードマップでは、水蒸気爆発、マグマ噴火それぞれの災害予想区域に板柳町の一部も含まれている。また降灰も風向によっては、農作物をはじめ、様々な分野への被害が予想される。このようなことから板柳町民が今まで経験したことがない岩木山の火山噴火問題に対して、広域連携での対策や板柳町としての対策を、どのように考えているのか。

答 (館岡町長) 火山災害は、火山現象やその規模が多様で火山活動を正確に予測することが困難である上に、火山に関する専門的知見が乏しい市町村のみ

では適切な対応は難しい。また災害の影響は広域に及ぶ可能性があり関係機関が広域で連携して迅速な対応をとる必要がある。このことから青森県が主導し、11月に岩木山火山防災協議会が設置された。構成員は、火山災害の専門家、東北森林管理局、気象台、自衛隊、県の関係部署、関係消防組合、そして市町村などの行政機関である。第1回目の会議では岩木山の現状などについて情報の共有をしている。今後は具体的で実践的な避難計画などを予定しているの

町独自の対応

問 火山災害対応について、町職員の火山災害への対応能力向上をはかるため、町独自で何か検討できないか。

答 (館岡町長) 火山災害に

対応し、自治体への調査など、これからの様々な町独自で何ができるのか調査研究したい。

旧町名と住所のあり方

町内会をはじめ、子供会や学校関係、各種行事など様々な場面において大人から子供まで、ごく普通に旧町名が使われている。昔から受け継がれる、ある意味町の歴史や伝統文化をも感じることができると思っている。今後も残していきたいと思う反面、近隣町村との広域連携の枠組みの中で考えたとき、不都合が起きてくる可能性も感じられるので、今後町としてどのように取り組んでいくのか。

問 旧町名に住所変更することは、以前にも一般質問があり、色々と調査を行ったが、役場の住所に関係する書類全てを変更しなければならぬ。そのシステム改修などの事務量や費用が膨大にのぼるので、この住所変更については大変難しいと考える。また、弘前地区消防事務組合関係では、平成27年10月から指令センターが消防本部に一本化される予定である。火災要請などの通報は、モニター画面の地図

学校教育での指導

上に現住所で表示され、周辺の道路や建物などの付属情報から現場地点を確定することになる。しかし、それまでの間、一つの例として電柱などに本住所を表示するとか、あるいは別な方法があるのか状況を見ながら検討、研究したい。

問 私は、旧町名は板柳町独自ですばらしいと思う。旧町名と住所について、小さい頃から興味をもつよう学校教育で指導できないか。

答 (中谷教育長) 町内の小中学校の文化は、旧町名で統計などをとったり、生徒指導上の校外班の組織や運動会のテントの場所とり、教員の家庭訪問などは旧町名でやられている。住所の大字、小字は浸透していない中で児童や生徒が成長してきている。なお小学校3年生から社会科の学習が始まり、私たちの町について色々と勉強する機会があるので、この旧町名と住所のことが取り上げられるとすれば3年生から4年生の段階である。

一目でわかる審議結果

第12回定例会 12月提出議案

議案	結果
・専決処分（平成26年度一般会計補正予算）の承認	全員承認
・板柳町監査委員の選任につき同意を求めること（新任・青山金男氏）	全員同意
・人権擁護委員の推薦につき意見を求めること（新任・米澤いく子氏）	全員可決
・津軽広域連合規約の一部変更	全員可決
・青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の増加及び青森県市町村総合事務組合規約の変更	全員可決
・弘前圏域定住自立圏の形成に関する協定の一部を変更する協定の締結	全員可決
・板柳町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	全員可決
・板柳町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	全員可決
・板柳町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	全員可決
・板柳町議会議員期末手当支給条例の一部改正	全員可決
・板柳町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	全員可決
・板柳町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正	全員可決
・板柳町職員の給与に関する条例の一部改正	全員可決
・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	全員可決
・板柳町国民健康保険条例の一部改正	全員可決
・平成26年度補正予算（板柳町一般会計ほか7件）	全員可決
・議員発議「『手話言語法』制定を求める意見書」	全員可決
・議員発議「ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書」	全員可決

議会の動き（10月～12月）	開催日	会議等名	出席議員
		【10月】	
	10月 2日	西北津軽郡町議会議長会議	安田議長
	10月 6日	町例月検査(監査)	安田(久)議員
	10月14日～15日	西北五福祉事務組合議会議員視察研修	三戸議員
	10月16日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
	10月17日	議会運営委員会(11・12月会議等)	北畠委員長、委員
	10月24日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
	10月28日	正副議長・事務局長研修会	安田議長、成田副議長
	【11月】		
	11月 5日	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
	〃	町例月検査(監査)	安田(久)議員
	11月12日～14日	議長全国大会及び西北津軽郡町議会議長会視察研修	安田議長
	11月14日	津軽広域連合議会定例会	長内議員
	〃	弘前地区環境整備事務組合議会定例会	成田議員
	11月18日	知事を囲む行政懇談会	安田議長
	11月25日	弘前地区消防事務組合議会定例会	今議員
	〃	議員全員協議会(町諸案件等)	安田議長、議員
	11月28日	議案説明会	議員
	〃	議会基本条例制定調査特別委員会	成田委員長、委員等
	【12月】		
	12月 1日	議会運営委員会(定例会案件)	北畠委員長、委員
	12月 4日	本会議(定例会日程、町長の提案理由等)	安田議長、議員
	12月 5日	町例月検査(監査)	安田(久)議員
	12月10日	本会議(一般質問・3人)	安田議長、議員
	12月11日	総務産業厚生常任委員会(所管事務調査)	長内委員長、委員
	〃	福祉建設文教常任委員会(所管事務調査)	佐藤委員長、委員
	12月12日	本会議(委員長報告、採決、閉会)	安田議長、議員
	〃	町議会だより編集特別委員会	葛西委員長、委員
	12月19日	西北五福祉事務組合議会臨時会	三戸議員

査 審 会 員 委 任 常

総務産業厚生

議案審議の主なもの

■水田対策事業

Q 水稲種子購入助成事業費補助金その内容は。

A 種もみの量の上限を10アール当たり4.5キ、単価は1キ当たり420円とし、作付面積に掛けて計算した金額と、実際の購入金額を比較して、低い方の金額の2分の1を助成する。

Q 土地改良区費の助成は考えていないか。
A 考えていない。

Q 我が町で米の経営所得安定対策に加入している人はどのくらいか。
A 約6割は加入している。

Q 今後の水田農業に係る施策として飼料用米・大豆の作付けを推

進するということだがその内容は。

A 大豆転作組合を核として、大豆作付け面積を推進するために、新規作付者の面積に対して、町転作団地化育成支援事業費補助金の2分の1の額を転作組合に交付するもの。

Q 町独自の大豆に係る機械購入の補助金は考えていないか。

A 国の補助事業があるのでそれで対応してもらうが、国の補助事業がなくなれば町で補助対応する。

■基金の運用・管理

Q 基金を低金利で町へ一時貸し付けできないものか。

A 基金は条例で管理しており、条例の手続きを踏まえればできないことはないが、基金は有利な方法で管理するということになっているので、現状は銀行の定期預金で管理している。

陳 情

・農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する陳情

継続審査

福祉建設文教

議案審議の主なもの

■保育料について

Q 町内の保育所と町外の保育所とは、入所するにあたり保育料に違いはあるのか。

A 保育料は所得課税状況で決まるので、町内でも町外でも同じである。

Q 幼稚園の就園奨励費補助金のような補助金制度はあるか。
A 補助金制度はない。

■町営住宅の滞納状況について

Q 我が町の住宅料の滞納状況は。

A 過年度分（昭和62年度から平成25年度まで）11月末現在で、1872万7千円、現年度は約120万円ほど滞納がある。臨戸訪問、保証人への完納指導依頼等回収に努力している。

■板柳中学校耐力度調査業務委託料

Q 耐力度調査とは。

A 建物の構造耐力、経過年数、立地条件などを総合的に調査し、老朽化の度合いを判断するもので、調査期間は6ヶ月ほどかかり、さらに県の審査が2ヶ月ほどかかる。その点数5000点以下が「危険改築事業」の採択基準となっている。

■除雪について

Q 除雪車両出動の基準は。

A 曜日に関係なく、降雪・積雪の状況で出動する。

■雪置き場について

Q 3カ所雪置き場が設置されているが、捨て場所がなくならないよう配慮してもらいたい。

A 随時パトロールして、そのようなことがないように対応していく。

請 願

・手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

採 択

陳 情

・ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

採 択

要 望

・これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書

採 択

視察・研修レポート

視察研修

九州（鹿児島県・大分県）

●期間

平27年1月19日(月)
～1月23日(金)まで

●目的と視察先

九州で、当町特産品の販売状況等と熱い町づくりを繰り広げるまちを訪ねました。

- ・福山物産くろぐず屋／重久盛一酢醸造場(鹿児島県)
- ・(株)山形屋百貨店本店(鹿児島県)
- ・中津市「観光振興について」(大分県)
- ・豊後高田市「昭和のまちづくり」(大分県)
- ・別府市「北高架下商店街」(大分県)

●参加議員

北畠弘美、館岡精一、葛西清人、今浩一(計4名)



中津市役所

初日は霧島市(株)福山物産を訪れ、「完熟りんご黒酢」を当町のりんごワークショップと共同開発した醸造場の見学と製品の販売状況を視察しました。2日目は鹿児島市に本店をおく(株)山形屋百貨店を訪れ、同店営業本部本店食品統括部長日高博昭氏(当町りんごの里アンバサダー)と面談し、りんごワークショップの商品のニーズや他商品のサイクルなどの動向を考察しました。3日目は中津市役所を訪れ、城下町の風情を生かした観光振興の取り組みやNHK大河ドラマ「軍師黒田官兵衛」放映に伴う観光推進の事業内容やその効果を視察し、今後の町づくりの参考にしました。4日目は豊後高田市を訪れ、昭和30年代の町並みを再現し町おこしに取り組んでいる状況を視察しました。5日目は別府市を訪れ、人のつながりによって商店街の魅力を復活させようとしている状況を視察しました。



酢醸造場(中央:重久社長)

●所感

今回の視察研修を通して、本当の意味での「まちづくり」の難しさを感じました。TV(大河ドラマ)等で話題の時は、観光客が大幅に増え活性化するものの、その後は大幅に減少していく傾向にあり、今後の持続をどのように考えていくのか。また、商店街も町並みを整備しても、そこにどのような人を呼び込む工夫をするかで、「天と地」ほどの結果を招くことを痛感しました。

(議員 今浩一)

東京都内当町特産品

販売状況視察

1月16日に、田中議員は東京ドームシティで開催されている日本の「元氣」「うまい」が集う大祭典を視察しました。全国各地の名物を販売する物販ブースが多く設けられ、当町りんごワークショップも出店しており、販売状況等を視察しました。また販売研修で板柳町物産PRのため参加している町職員を激励しました。翌日は青森県アンテナショップ「あおもり北彩館東京店」を視察し、青森県の旬の特産品が販売されており、首都圏における商品のニーズや市場の動向を調査しました。当町のりんごやりんご加工品は多くのお客様に認知されていることを実感しました。



第58回全国町村議会議長全国大会 及び平成26年度西北津軽郡町議会議長会視察研修

昨年11月12日に、東京NHKホールで、多数の国会議員をお招きし、約1700人の町村議会議長関係者の出席者で「町村のさらなる振興発展をめざして」をテーマに開催され、安田弘議長が出席しました。大会の冒頭、安倍内閣総理大臣からのメッセージに続き主催者を代表し、蓬（よもぎ）会長より挨拶がありました。その後、議事、特別決議、最後に、「ガンバロー」を三唱し、会場が熱気に包まれる中、終了しました。



工場を視察し11月14日に帰町しました。世界遺産誕生に沸き立つ地元では経済への波及効果も大きく、地元の良さを大いに売り込んでいました。

県町村議会議長会主催 「町村議会議長会・事務局長研修会」

昨年10月28日に、青森県共同ビルにおいて約80人が出席して開かれまし。 杉谷（そまや）会長（外ヶ浜町議長）あいさつの後、講師の山梨学院大学法学部教授今村都南雄（いまむらつなお）氏より「議会改革の取り組みをめぐって」と題し、約2時間の講演が行われ、当町議会からは安田議長、成田副議長ほか1名が参加しました。全国の地方議会では、様々な議会改革の取り組みが行われており、当町議会においても一歩一歩進めなければと痛感させられました。



講師：今村都南雄

県町村議会議長会主催 「知事を囲む行政懇談会」

昨年11月18日に、ホテルクラウンパレス青森において、県側から三村知事はじめ、関係部課長、町村議会議長会から杉谷会長ほか各町村議会議長などが出席して開かれました。懇談会は、杉谷会長（外ヶ浜町議長）、三村知事あいさつの後、各郡代表が地域の懸案事項の実現方を県に要望しました。西北津軽郡は、安田議長が代表して「小中連携、一貫教育推進に係る施設整備について」行いました。

安田弘議長



三村県知事

<議会日程のお知らせ（予定）>

月 日	内 容	
3月 2日(月)	本会議	諸般の報告、特別委員会報告、提案理由の説明、予算特別委員会の設置
3月 5日(木)	本会議	一般質問
3月 6日(金)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
3月 9日(月)	特別委員会	予算特別委員会
3月10日(火)	特別委員会	予算特別委員会
3月11日(水)	特別委員会 本会議	予算特別委員会 委員長報告、質疑・討論・採決

議会を傍聴しませんか 次の定例会は3月です。

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。本会議は10時に開会します。なお、傍聴できる人数は51人となっております。

おらほの議員（議会選出委員）

監査委員

（安田 久五郎）

監査委員は、地方自治法に基づいて設置する町長から独立した執行機関で、町の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理などが、法令等に従って適正に行われているかどうか、また、効率的・効果的に行われているかどうかという観点から、各種監査や審査等を行い、その結果を公表しています。

2人の監査委員（識見を有する者から選任される委員1人、議会から選任される委員1人）が置かれており、いずれも議会の同意を得て町長が選任します。任期は4年です。

国民健康保険運営協議会

（成田 肇・田中 達男・葛西 清人・今 浩一）

国民健康保険運営協議会は、国民健康保険税の税率や給付内容など国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するための機関です。

被保険者を代表する委員、保険医又は保険薬剤師を代表する委員、公益を代表する委員で計12人で組織されており、年数回、運営協議会を開催しています。任期は2年です。

農業委員

（北畠 弘美・館岡 精一・田中 達男）

農業委員会は、農地等の利用関係の調整をはじめ農業全般にわたる問題を農業者の創意と自主的な努力によって総合的に解決していくことを目的とした農業、農業者の利益を代表する機関として、農業委員会法に基づき設置されている行政委員会で、毎月1回定例会議を開催しています。

地域の農業者の代表として選ばれた農業委員（選挙委員）とJA、共済組合、土地改良区、議会から選任された農業委員（選任委員）計18人で構成されています。任期は3年です。

都市計画審議会

（安田 久五郎・佐藤 洋治・田中 達男
・長内 良蔵・今 浩一）

都市計画審議会は、土地利用や道路、公園などの都市施設の整備といった都市計画に関する重要事項を調査審議する機関です。

審議会は、町長により任命された町議会議員、学識経験者及び行政機関の職員による10人の委員によって組織されており、年1～2回審議会を開催しています。任期は2年です。

編集後記

♪お酒はぬるめの燗が、いっしょにホロ酔い気分ですと、昔をなつかしむ。

あの頃は、泥まみれになってジャッコ（雑魚）を捕ったけな。道草での野いちごはホントにつまかった。ところで今の子供たちは野いちごの事知ってるかな？

ふるさとの昔のにおいが遠くなるこの頃、大人は未来に伝えるものを責任をもってしっかり見極めないと、あつという間に原風景がなくなるのでは。と気になる今夜の晩酌。

（委員 長内 良蔵）

【発行責任者】

議長 安田 弘

※5号発行予定は5月8日頃です。
議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

【訂正】議会だより第3号に次のおり誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。
6ページ下段 石澤経済課長③の答弁中「面積は約10町歩」を、「面積は約145町歩」に訂正。